



2022年8月31日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 A C C E S S
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員 大 石 清 恭
(コ ー ド 番 号 4 8 1 3 東 証 プ ラ イ ム)
問 合 せ 先 執 行 役 員 C F O コ ー ポ レ ー ト 本 部 長 岡 田 充 弘
(T E L . 0 3 - 6 8 5 3 - 9 0 8 8)

為替差益（営業外収益）及び

投資事業組合運用損（営業外費用）の計上に関するお知らせ

当社は、2023年1月期第2四半期連結累計期間（2022年2月1日～2022年7月31日）において、下記の通り為替差益（営業外収益）及び投資事業組合運用損（営業外費用）を計上することとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 為替差益（営業外収益）の計上

当第2四半期連結会計期間（2022年5月1日～2022年7月31日）において、外国為替相場の変動に伴い為替差益546百万円を計上することとなりました。これは主として海外子会社における外貨建て金銭債務の評価替えによるものです。その結果、当第2四半期連結累計期間（2022年2月1日～2022年7月31日）の為替差益は、569百万円となります。

2. 投資事業組合運用損（営業外費用）の計上

当第2四半期連結会計期間（2022年5月1日～2022年7月31日）において、当社が出資する投資事業組合の評価方法について有限責任あずさ監査法人と慎重に協議を行い、当第2四半期連結会計期間において、投資事業組合運用損292百万円を営業外費用として計上することとなりました。その結果、当第2四半期連結累計期間（2022年2月1日～2022年7月31日）の投資事業組合運用損は、267百万円となります。

3. 業績に与える影響

本件の計上による業績への影響につきましては、本日公表の「2023年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

なお、2023年1月期通期連結業績予想数値につきましては、為替差損益や投資事業組合運用損益は今後の外国為替相場や運用状況等により変動する性質のものであることを踏まえ、将来における不確実性等を勘案し2022年3月15日に公表しました業績予想数値を据え置くことといたします。

以 上